

今後の取組における県と市町の連携について

1 令和4・5年度における取組について

(1) 市町窓口を活用した移動理由に関するアンケート **継続** ※別紙参照

人口の移動理由を把握し、今後の効果的な対策につなげるため、市町の転入・転出窓口担当課（室）の協力の下、転入・転出者に対して簡易なWeb アンケートを実施。

(2) 大学生に向けた県内就職情報等の提供 **継続**

大学生の県内就職を促進するため、県外に進学した大学生も含めた本県出身者が一堂に集まる成人式などの機会を活用し、県内就職情報の直接提供を実施。

(3) 地域のあり方検討「地域の未来予測」 (予定) **新規**

人口構造の変化や施設・インフラの老朽化が進む地域社会において「目指す未来像」を議論するため、将来、具体的にどのような資源制約が見込まれるのか、その行政需要や経営資源に関する長期的な変化の見通しを、客観的なデータを基にして「地域の未来予測」として整理する。

※県内でのモデル事例創出のため、「地域の未来予測」の作成を希望する市町において実施を検討（R5 県予算額 1,000 千円）

作成した「地域の未来予測」を活用しながら、地域社会を支える様々な主体が、実現したい未来を議論し、ビジョンを共有するとともに、今後顕在化する多様な変化や課題への対応等を検討し、持続可能な行政サービスの提供につなげる。

2 今後の取組について

7月下旬から8月にかけて各市町を訪問、意見交換を実施し、取組テーマ（案）を検討。

「三重県における移動（転入・転出）の理由に関するアンケート」について

1 調査の目的

社会減対策をより効果的に実施するため、転入転出の理由を調査する。

2 調査の対象

県外からの転入者、県外への転出者および県内移動者

3 調査期間

令和5年3月より、年間を通して実施

4 調査方法

県内各自治体の転入・転出窓口において周知し、県の電子申請システム（LoGo フォーム）にて転入・転出者が直接回答

5 協力自治体

28自治体

6 調査項目

- ・ 移動種別（転入、転出、県内移動）
- ・ 移動元および移動先（県内市町または都道府県）
- ・ 移動先が出身地（Uターン）か否か
- ・ 今後の定住意向
- ・ 移動者の属性（主要因となった者の性別および年齢、同伴者の続柄）
- ・ 移動のきっかけ（進学、就職、転勤、転職など）
 - （進学の場合）進学先を決める際に重視したこと
 - （就職、転職の場合）就職先や転職先を決める際に重視したこと
 - （それ以外の場合）移動先地域を決めた理由
- ・ 移動先の住まいの形態

7 集計について

月単位または年単位で取りまとめを行う。

※集計結果は各市町にフィードバック